

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の数学では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるということについて、全国平均を大きく上回る正答率でした。本校では、令和元年度から、「班活動を通じて自分の意見を相手に伝える」「数学の用語を用いて説明する」といった活動を大切にされた指導を継続してきました。それらの学習活動を通じて培った力が結果に表れてきたものと思われまます。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「している」と回答した生徒は64%と、令和元年度の調査と比較し、18ポイント上昇していました。これは、家庭学習の手引きなどを作成するとともに、家庭学習の目的や意図を生徒や保護者へ説明する取組が、結果に反映されたものと思われまます。

課題と対応

国語では、「話すこと・聞くこと」の話合いの課題や方向を捉える趣旨の問題において、課題が見られました。そこで、授業において生徒たちが話し合う場面でも司会を立てて役割を確認したり、話合いの手順を示したりするなど、普段から意識付けをする必要があります。また、日頃から話の要点を押さえたり、話し手の意図を考えたりしながら聞くことを意識させる指導を行っていきたいと考えまます。

質問紙調査の結果からは、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問に対し、「あまり同じくらいの時刻に寝ていない」「同じ時刻に全く寝ていない」と回答した生徒が24.5%おり、全国平均と比較しても高いことが分かりました。また、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」という質問について、全国平均より否定的な回答が多いことが分かりました。学級活動等の時間を使い、規則正しい生活習慣の確立を目指すとともに、生活ノートに朝食や起床・就寝時間の項目を設けるなど、生活状況の改善につながるような取組を考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学力・学習状況調査の結果や本校の生活アンケートから、年々家庭学習の時間が多くなり、家庭での学習習慣が身に付いてきていることが分かります。また、テレビやビデオ・DVD等の視聴や、テレビゲーム（コンピュータ・携帯・スマートフォンも含む）等をする時間が少なく、メディアとのよい距離感をもち生活できています。しかし、起床・就寝時間が決まっていない生徒が見られます。よりよい生活習慣を身に付けることは、生徒の更なる成長や自立につながると考えています。生徒のよりよい生活習慣の確立のための活動を、学校と家庭とで連携し進められるように、一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
	社会	国会の仕組みや三権分立の仕組みを理解している。
	数学	面積・体積を求めたり、中央値や最頻値を求めたりすることができる。
	理科	水溶液の性質についてよく理解している。
	英語	場に応じ発話したり、質問に答えたりする力を付けている。
	学習状況	「学んだことをより詳しく調べたいと思う」と回答した割合が高く、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。
第2学年	国語	自分の考えを分かりやすく伝えたり、伝えたい事柄について書いたりするなど「書く・話す」力が付いてきている。
	社会	資料活用の技能に関する問題の正答率が高く、資料を読み取る力が付いてきている。
	数学	比例・反比例について、式・表・グラフの関係を理解している。
	理科	裸子植物の特徴など、植物の分類について理解している。
	英語	単語の並べ替えによる英作文の力が付いてきている。
	学習状況	授業での話し合い活動や振り返り活動ができ、学習の定着が見られる。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	文学作品で場面の様子を読み取ったり、説明文で文章の意味を理解して内容を捉えたりすることに課題がある。	国語では、根拠を明確にした上で読み取ったことを相手に伝えたり書いたりする活動を意図的に取り入れていきたい。社会においては、資料の読み取りをする機会を、また数学においては、事象を数学的に捉え、自立的・協働的に解決できる言語活動の場面を増やしたい。理科においては、身に付けた力を実生活で使える方法を想像させるなど、活用法を考える機会や場面を増やしたい。英語では基本的な単語に繰り返し触れさせることでその定着を図っていききたい。 学習状況については、ゲームやインターネットに触れる時間が長いことが課題である。帰宅後の自分の時間の使い方について考える機会を学活等で設けるとともに、「ばちモグ」の取組を通して、自分でゲームやインターネットとの付き合い方を考え、時間の選択・調整ができる力を付けさせたい。
	社会	日本の工業の現状について、資料から読み取ることに課題がある。	
	数学	最大公約数の考え方をを使って数を求め、その考えになる理由を説明することに課題がある。	
	理科	月の形の推測のような巨視的な事象を扱う能力に課題がある。	
	英語	数字、月や曜日の名前などの基本的な単語の意味理解の定着に課題がある。	
	学習状況	ゲームやインターネットに費やす時間が長い傾向が見られる。	
第2学年	国語	部首名や文節の関係を理解することに課題がある。	国語では、文章中の言葉の使い方や関係についての学習に取り組む機会を設けるようにする。社会では、宗教や文化が現代の社会にどのような影響を与えているのか、過去のことと結び付けながら考える場面を設ける。数学では、数量の関係を捉えやすいように具体的な数に置き換えながら、文字を使った式の良さに気付けるようにする。理科では観察・実験の際に、ポイントを絞ってレポートを書くように指示をし、レポートを見て振り返りができるようにする。英語では、状況を表す絵を示しながら、聞き取りに取り組む機会を増やすようにする。 学習状況については、一層の学力定着を図るため、「ばちモグ」の取組を通して、主体的に自己管理ができるようなメディアコントロール力を身に付けさせるとともに、メディアや読書を活用した探究的な学習活動の習慣を身に付けさせるようにしたい。
	社会	国風文化や鎌倉文化について理解することに課題がある。	
	数学	数量を文字を使って表すことに課題がある。	
	理科	観察・実験の技能や実験を通して理解したことが定着していないことに課題がある。	
	英語	英文を聞いて、聞こえた順に絵を並び替えることに課題がある。	
	学習状況	ゲームやインターネットをする時間が長く、読書の時間が短い。	

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査の結果から、平日の家庭学習時間に関する質問において「1時間以上」と回答する生徒の割合が昨年度よりも増加傾向にある一方で、平日のゲームやインターネットをする時間が長くなっている傾向が見られます。メディアの使用時間が長いほど正答率が低くなる傾向も報告されています。毎年、年3回の「ばちモグチャレンジ」を通して保護者の方からのご協力をいただいているところです。今後とも家庭学習の見守りをしたり、ゲームやインターネットの長時間使用にならないよう家庭でのルールを作ったりするなど、毎日の学習習慣とより良い生活習慣の確立ができるよう、ご支援ご協力をお願いいたします。